

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
葉山町	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
					●	●	

抜本的な改革の取組状況

取組事項	民間活用(包括的民間委託)												
実施済	●	<p>(取組の概要) 仕様発注における維持管理では効果的かつ適正な運営管理が迅速に行われていない状況があり、より効果的な運営方法へ昇華させることを目的に包括的民間委託の導入を進めてきた。 令和4年度末に事業者選定は完了し、令和5年8月1日より浄化センター、中継ポンプ場及びマンホールポンプ32箇所の管理運営を包括的民間委託として実施中である(契約期間は4年)。</p>	<p>(実施済のみ)性能発注内容) 運営管理業務、各種点検・検査、ユーティリティの調達・管理、1件当たりの金額が一定額以下(1件当たり130万円(税込)以下、単年度当たり1,000万円(税込)以下)の修繕等を含めた性能発注。</p>	<p>(実施(予定)時期)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">令和</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">年</td> <td style="text-align: center;">月</td> <td style="text-align: center;">日</td> </tr> </table>	令和			5	8	1	年	月	日
令和													
5	8	1											
年	月	日											
実施予定													
		11	百万円(年)										
		<p>(取組の効果額内訳) ○包括的民間委託により期待するコスト削減効果見込 ①民間の創意工夫によるユーティリティ調達のコスト削減 →年3,000千円(4年総額12,000千円) ②直営業務の削減に伴う公共人件費のコスト削減 →年8,000千円(4年総額32,000千円)</p>											
検討中													
		<p>(取組の概要)</p>											
		<p>(検討状況・課題)</p>											

取組事項	民間活用(PPP/PFI方式の活用)																									
実施済	●	<p>(取組の概要) 令和7年度までの概成(アクションプラン)達成のため、未普及解消への取り組みとして平成30年度から令和4年度までの5か年で設計施工一括発注(DB)方式における下水道管渠整備事業を実施した。 従来方式に比べ事業費の削減及び工期の短縮ができ、供用開始の迅速化による住民サービスの向上が図られた。 令和5年度からは葉山浄化センター水処理設備の増設、葉山中継ポンプ場の汚水ポンプの増設をDB方式により実施している。また、現在ウォーターPPP導入に向けても検討中である。</p>	<p>(方式)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">BTO方式</td> <td></td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">公共施設等運営権方式(コンセッション方式)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">BOT方式</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">BOO方式</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">DB方式</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">港湾運営会社制度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">DBO方式</td> <td></td> <td style="text-align: center;">その他</td> </tr> </table>	BTO方式		公共施設等運営権方式(コンセッション方式)	BOT方式		BOO方式		DB方式	●	港湾運営会社制度	DBO方式		その他	<p>(導入・契約(予定)時期)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">平成</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">21</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">年</td> <td style="text-align: center;">月</td> <td style="text-align: center;">日</td> </tr> </table>	平成			30	11	21	年	月	日
BTO方式		公共施設等運営権方式(コンセッション方式)																								
BOT方式																										
BOO方式																										
DB方式	●	港湾運営会社制度																								
DBO方式		その他																								
平成																										
30	11	21																								
年	月	日																								
実施予定																										
		100	百万円(年)																							
		<p>(取組の効果額内訳) 従来通りの発注方法では、事業費16億円、工期7年間が必要であったが、DB方式の導入により事業費を4億円削減、工期を2年間短縮することができた。 (工事期間は4年間のため、効果額は年1億円とした。)</p>																								
検討中																										
		<p>(取組の概要)</p>																								
		<p>(検討状況・課題)</p>																								